

事例 実際の職場で、復職練習を行った事により職場復帰が叶った脳血管患者

本人の希望：もとの工場に勤務したい

基本情報

診断名：術後脳梗塞 70代女性
 発症日：2025年3月19日
 当院回復期入院日：
 方向性：自宅退院。職場復帰（換気扇関係工場勤務）。
 入院時ADL：基本動作自立。左上肢麻痺があり巧緻動作困難。

目標設定

短期目標：左上肢運動麻痺の改善・院内ADL自立

長期目標：復職に向けて院外練習を実施し院外IADL自立

最終目標：実際の職場で復職練習し職場復帰

リハビリテーションプログラム

短期：上肢麻痺運動練習・屋内歩行練習・入浴練習

長期：屋外歩行練習・公共機関練習・買い物練習・模擬復職練習

最終：実際の職場で復職練習・実際の職場通勤を想定した通勤練習

結果

職場の方と一緒に、作業動作場面の評価と復職練習を実施。
 実施後、最初のうちは時短勤務から開始という事で職場復帰可能となった。



事例 多発性硬化症になったがもう一度生命保険の仕事に戻りたい

本人の希望：歩けるようになって、20年続けている生命保険の仕事に戻りたい

基本情報

診断名：多発性硬化症 50代女性
 発症日：
 当院回復期入院日：
 方向性：自宅退院・職場復帰（生命保険事務作業）
 入院時ADL：基本動作全介助・移動車椅子介助・トイレ全介助

目標設定

短期目標：基本動作自立・更衣動作獲得・トイレ動作獲得
 長期目標：入浴動作獲得・歩行器歩行獲得・階段見守り
 最終目標：T字杖歩行獲得・階段自立・実際の職場で復職練習する

リハビリテーションプログラム

短期：基本動作練習・トイレ動作練習・更衣練習・車椅子駆動練習
 長期：入浴練習・歩行練習（歩行器）・階段練習（手すり使用）
 最終：杖歩行練習・階段練習（手すり無し）・復職練習（事務作業）

結果

多発性硬化症の影響（ウートフ兆候）に注意しつつ、リハビリ実施。初期は日内変動が強く、本人の精神的ケアが必要であったが、徐々にADL拡大にしていくにつれ、精神的にも安定し、最終的には実際の職場（生命保険）で復職練習実施し、職場の方にも協力して頂き、職場復帰可能となった



事例 嫌だった手術をしたからには、もとの生活に戻りたい！不全麻痺の脊髄損傷患者

本人の希望：近くの店に買い物に行きたいし、洗濯・料理は自分でしたい。息子に迷惑をかけたくない

基本情報

診断名：頸髄損傷（固定術）70代女性
発症日：
当院回復期入院日：
方向性：自宅退院
入院時ADL：基本動作軽介助・移動歩行器見守り

目標設定

短期目標：院内日常生活動作自立

長期目標：屋外歩行自立・買い物動作自立

最終目標：調理動作自立・家事（洗濯・掃除）動作自立

リハビリテーションプログラム

短期：屋内歩行練習・トイレ練習・入浴練習・更衣練習・整容練習

長期：階段練習・屋外歩行練習・買い物練習・公共交通機関練習

最終：調理練習・家事動作（洗濯・掃除）練習・自宅訪問練習

結果

実際に自宅で家事動作練習実施し、自宅周辺の買い物練習実施。調理は院内で作業療法士と実施し調理動作自立。本人の希望だった、買い物・調理・洗濯動作自立となり自宅退院となる。